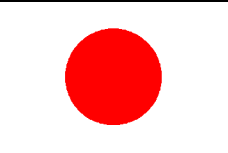




秋田県立横手清陵学院高等学校
2年部通信 第23号 (通算59号)
平成24年11月22日 (木)
〒013-0041 秋田県横手市大沢字前田147-1
TEL 0182(35)4033 FAX 0182(35)4034



韓国修学旅行特集その4



A Special Feature on the School Trip to KOREA Ⅳ

日程最終日

いよいよ日程最終日。移動の一日でしたが、心地良い疲労とたくさんの思い出をもって帰るみんなの顔はとても満足しているように見えました。

ホテル発 → 朝食 → 仁川空港 → (A隊) 秋田空港 (B隊) 仙台空港 → 学校



総合技術科はまだ暗いうちにホテルを出発



まだ眠そう??



韓国での最後の食事



空港でガイドさんとお別れ



無事秋田空港に到着 (普通科)

朝は早い出発でしたが、帰りはトラブルもなく全員無事に帰校しました。安全に行き安全に帰ってくるという目標が達成でき、ほっとしました。



4組学校に無事到着(16:00)



5組も少し遅れて到着

班日誌より

修学旅行に行く前は不安で、あまり行きたくありませんでしたが、行った後は考え方も変わり、もう1日だけでもいいので韓国にいたいと思いました。(Y.F)最初韓国に来たときはどうなるんだろうと思ったけど、とてもとても楽しく4泊5日間過ごせました。(〆〆)韓国の人は日本語を話せる人が多くて、あまり韓国に来た気がしませんでした。でも、テレビや看板を見たりすると、今韓国にいるんだな~と思えました。この旅行中にイムさんや大学生のハナさんと仲良くなったので、お別れのときは本当に悲しかったです。(´ω;`)韓国はとても良いところだと分かったので、是非また来たいです。(S.A)韓国では、様々な文化に触れることができて楽しかったです。食事のマナーや地下鉄の乗り方など、日本と違うところが多くて大変苦労しましたが、とても勉強になりました。また、クラスの絆も修学旅行の団体行動を通して深まったと思います。思い出がたくさんできました。そして、韓国での生活を通して自分を磨くことができたと思います。韓国を去るのは名残惜しいけど、やっぱり秋田がいいと思った旅行でした。(R.T)韓国を去るにあたって私が思ったのは、自分が今こうして生きている間にも、世界の他の場所で同じように生きている人たちがいて、その人達と5日間の中でいろいろなことを通して関わることができたのは本当に幸運な事だと思います。韓国で学んだことはたくさんあります。それは私の人生の中で、大事な宝物になるだろうと思います。その宝物を大事にしつつ、今を生きたいです。(H.N)異国の地、韓国での修学旅行はとても楽しい思い出をたくさん作ることができた。クラスみんなと更に絆を深め、一つになれた気がする。日本に帰ってみると、やはり気持ちが落ち着いていた。日本が一番良いことを改めて感じた。(S.T)

最後に、学校に帰ったときの皆さんの感想を掲載して修学旅行特集を締めくりたいと思います。

◎帰りの空港からのバスでは「**なんて優しい運転なんだ**」と周りの人が言っていました。左側通行にも少し違和感がありました。◎修学旅行も終わり、高校2年生はいよいよ**進路へ向けて頑張らなければならない時期**となりました。皆、気持ちを切り替えて授業に臨んでほしいと思います。◎ただいま日本！そして秋田！やっぱり秋田の空気はおいしいです。韓国もいいところでしたが、**秋田もそれに負けないくらいいいところ**です。これで行事も一段落したので、気持ちを切り替えて学校生活を送りたいです。◎日本に帰ってきて、空気が良いと思いました。私たちの住んでいる秋田は田舎で何もありませんが、空気はいいし食べ物もおいしいです。**日本に住んでいて良かった**と改めて思いました。◎**韓国の良いところをたくさん見つけることができた**ので、もし韓国に行く機会があったら、今回の経験を活かしたいです。◎帰りのバスではみんなテンションが高かった。みんな韓国にいたときの余韻と日本に戻ってきたという安心感でいっぱいだったのだと思う。自分の心の中では**感動にも似たような安堵**があった。◎修学旅行は**高校生活で最高の思い出**だった。これからの学校生活も頑張っていきたい。◎学校に着いたら、先生方、家族が出迎えてくれて、**無事帰ってこれたことにほっとしました**。◎ 今回の修学旅行でたくさんのことを学び、海外に行ったことで自分の中でも**何かが変わった**気がした。◎帰国して、やっぱり田舎は落ち着きます。日本食が食べたい衝動に駆られ、家に帰ってから親に頼んでお寿司を食べました。家族皆に**無事に帰ってきてくれて良かった**と言ってもらいました。◎イムさんとの**別れがとても辛かった**です。私は泣きました。いつまでたっても忘れません。イムさんにまた会いたいです。◎**たくさんおみやげを買った**ので、荷物がすごく重くて、運ぶのが大変だった。◎帰ってきてみると早かったなあと思いました。5日間とても充実していました。**いろんな人と会話して、交流できたし、思い出もたくさん作ることができました**。◎あっという間の4泊5日でした。**あと1~2日くらいいいたいです**。買い物もできたし、おいしいものも食べられたので満足です。また来たいと思います。◎学校に着くと**みんなすっきりしたような顔**をしていた。私も久々に日本の空気を吸って安心した。

高校生活最大の行事である修学旅行が終了しました。高校2年生のこの時期に海外へ行き、他国の生徒と交流し異文化を体験したことで、目には見えなくても、大きな影響を与えられたはずで、それが今後の高校生活や進路選択に活かされることを願っています。

さて、修学旅行終了と同時に受験生としての生活がスタートしたことになります。公務員試験、民間企業就職試験まで約10ヶ月。進学希望者はAO入試（早いところでは8月くらいに始まります）に始まり、推薦、一般と続き、再来年3月まで長期間にわたる戦いになります。今後2年生全員が、進路実現という同じ方向を向いて過ごしてほしい。今こそ自分自身の中で受験生宣言をして、進路実現を中心に据えた生活を心がけましょう。今スタートすれば第1希望合格の可能性は高い！

It's time to start now!

（文責：高校2学年主任 佐々木信吾）